

⑩ 介護人材養成コース

日数	教科名	教科の内容	22日
1	開講式	訓練の意義	1
	社会人としての心構え	会社とは（学生との違い）、社会人としてのルールの遵守、社会人の基本 ～あいさつ、お辞儀の種類とポイント、身だしなみ	7
2 3 4 5	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、敬語、名刺交換、電話対応、仕事の進め方、受命・報告・連絡・相談、コミュニケーションの重要性、ビジネス文書、ビジネスEメール、社内文書・社外文書	32
6	コンプライアンス	法令遵守、社内や社外の規範遵守、企業倫理や社会的規範、CSR（企業の社会的責任）の本質、内部統制とコーポレートガバナンス	8
7	介護業界の理解、 介護の基本理念	介護保険法、障害者総合支援法等関係法令及び制度の理解とコンプライアンス等、各種関係法令の理解	8
8		職務の理解（多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解）、介護における基礎的理解、介護にかかわるそれぞれの職務や専門性の理解、理論・法的根拠に基づいたケア	8
9		介護における人権と尊厳、自立に向けた介護、介護従事者における職業倫理、利用者の方々の人権・尊厳の保持、自立した生活を過ごせる介護	8
10		介護の役割、専門性と多職種との連携、介護におけるチームコミュニケーション、チームとして円滑な業務が行えるため方法（記録の意義・目的・記載方法や報告・連絡・相談の具体的方法）	8
11	介護業務の基礎知識	介護に関する基礎的理解、介護の基本的な考え方を知るとともに介護に関するところや身体の仕組みを理解する	8
12		老化に伴う心身の変化の特徴、高齢者の健康、医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理・原因疾患別ケアのポイント、障害の医学的側面や生活障害等の基礎知識	8
13		高齢者・障害者の家族や関係する方々等の心理の理解、介護従事者の健康管理の重要性（サービス提供やサービスの内容及び質に直結することの理解）	8
14		介護における安全の確保とリスク管理、感染症予防、利用者の生活を守る技術としてのリスクマネジメント、対応方法の理解	8
15	介護実習 （生活支援技術）	介護過程の意義と目的及びその展開のプロセスの理解、総合生活支援技術演習（事例を通じて適切な支援技術や状況に合わせた介護を提供する視点について理解する）	8
16		食事の必要性や食事に関連する仕組みの理解、適切な食事介助の方法、誤嚥予防、利用者本人の力を活用した、心地よい排泄の介助が行えるための技術習得、心と身体の仕組みと自立に向けた介護	8
17		清潔保持がもたらす心身への効果やその援助方法、睡眠の必要性と心地よい安眠を支援するための知識や技術、仕組みと自立に向けた介護	8
18		家事支援の必要性と適切な支援方法、ボディメカニクス理論に基づく適切な援助方法、終末期（ターミナルケア）における心身機能の変化を理解し状況に応じた対応	8
19	介護ケア・ コミュニケーション	介護ケア・コミュニケーションの基本的な心構え、被援助者と有効な関係を築くためのコミュニケーションカ	8
20		被援助者を受け容れ、支えるためのコミュニケーションカ	8
21		職場におけるチームワークとコミュニケーションカ	8
22		被援助者の症状に応じたコミュニケーションカ	8
O f f - J T（教育訓練機関）小計			176 時間

